

教育相談だより



4月を迎える

子どもに自信を持たせる新学年の始まりを

—成長を認め、次に向かう意欲を持たせる—

学年末のこの時期、ご家庭では通知表を見ながら1年の振り返りをされることでしょうか。通知表は学校の中での評価です。成績にあらわれない子どもの頑張りを認めてあげることも大切です。希望を持って次の学年にのぞむことができるよう、子ども自身が自分の成長に気づくきっかけとされてはいかがでしょうか。

 **周りと比較せずに、子ども自身の成長を認めましょう。**

<できているところに注目>



うれしい
自分なりに頑張った
僕は〇〇が得意なんだ


もっとやれる
またほめられたい

<できないことに注目>



がっかり
どうせ私はダメ
私は〇〇ができない子なんだ

やりたくない
疲れる
考えたくない

 **出来ているところにアンテナを張って、子どもの「あるもの探し」をしましょう。**

<ちょっとしたでもできたところを評価>
本人の頑張りや工夫を引き出す聞き方

「どんなやり方をして、出来たの？」
「何が良かったの？」
「あの時、頑張ってたよね。」
「〇〇ができるようになったね。」



<出来ないところは…>
方法を具体的に伝える

「こういうやり方はどうかな？」
「次はこれやってみようよ。」
「これが出来たのだから、これも出来るよ。」
「協力するね。」

子どもの年齢によって伝え方も違います。難しい年頃の子どもには、長々と褒めても素直に聴かないときもあります。「〇〇ができるようになってよかったね。」と、さらっと伝えます。それだけで、親は見ていると感ずることでしょう。

出来ないところの克服も大切ですが、出来ることに気づかせることで、子どもは自信を持ち、苦手なことや新しいことに挑戦する勇気を得ます。

 **日頃子どもにかけてあげたい言葉「元氣が出るあかさたな」をご紹介します。**



困った時は、一人で悩まず、気軽に相談を

子どものしつけのこと

学校生活に関すること

友だちのこと

不登校やしじめのこと

子どもの性格や行動のこと

など

春日部市では心配事や悩みに応えるために、幼児・児童・生徒及びその保護者等を対象に次の三つの施設で教育相談を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。

教育相談センター

[春日部市教育センター2階]

電話 048-763-2220
0120-88-4266*
こども電話 0120-24-8466*
火～金 9:00～19:00
土 9:00～12:15
日 9:00～17:15

適応指導教室 そよかせ

教育相談センター大沼分館

[大沼中学校校内]

電話(問い合わせのみ)
048-737-1091
月～金 9:00～16:00

適応指導教室 すくすく

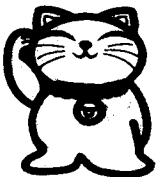
教育相談センター庄和分館

[庄和南公民館内]

電話 048-745-1700
月～金 9:00～16:00
第2・4土 9:30～11:30

*0120発信はフリーアクセスです。

携帯電話からは048-763-2220をご利用ください。



ご参加、ありがとうございました。

2/6(土)「不登校を考えるシンポジウム」 於：春日部市教育センター視聴覚ホール

保護者・学校関係者・地域の方々、約100名のご参加をいただきました。

第一部 講演会

埼玉県立大学教授 東 宏行先生

「不登校の子どもを支援するコツ」

不登校の支援は、原因を探るのではなく、子どもの心情と変化に合わせた関係で考えて行動し、「見捨てない」かわわりが大切だと、経験や事例を踏まえてご講演いただきました。

第二部 基調報告

市内中学校のさわやか相談員から、中学校のさわやか相談室の運営について、相談室での生徒への支援や教師との連携、教室復帰に向けた支援などについての報告がありました。

第三部 パネルディスカッション

不登校を経験し、現在は高校生になっている青年達を迎えて、不登校をしていた時の気持ちや家族との関係はどうだったのか等について率直なお話を聞きました。

保護者の感想から〈抜粋〉

・娘が不登校になり、現在は相談室登校が出来るようになりました。東先生や青年の皆さんの体験談を聞いて、娘と笑って話せる日を楽しみに頑張ります。

・青年の皆さんのお話を聞き、親も子も、ありのままを受け入れることには時間はかかりますが、受け入れられたら、そこから前進していけるように思いました。

・東先生の最後の話「大人の生き方、姿勢が影響を与える」という言葉が印象に残った。

・不登校生徒の支援で不安や迷いがあったが、関係づくりを焦らずにタイミングを見ながら本人の自立に向けて支援したい。

・子どもの気持ちにより沿って考え、親の意識が変わり、子どもが変容していくことに期待したい。